

深谷知広が地元Vにまい進

伊東競輪場開設73周年記念「椿賞争奪戦」は、12月2日～5日の日程でナイターにて開催される。地元の名手として開催される。地元の名手として開催される。地元の名手として開催される。

今年の深谷知広は1月大宮記念で優勝と好スタートを決めると、8月松戸記念、共同通信社杯を連覇。F1戦の優勝は5回もあるように、年間を通してコンスタントな成績を残している。現在の獲得賞金ランキング

は第7位で、2017年以来となるグランプリ出場に向けて視界は良好だ。自分で戦っても十分に優勝は狙える状態にあるが、同県の渡邊雄太、快速誇る松井宏佑らの動きに乘れるようなら、展開の利を得られる可能性も高まる。現に共同通信社杯の決勝では、積極的な走りを披露した渡邊を目標から優勝をものにしていく。65周年大会以来となる当所記念2V目を達成するとみて中心視した。その渡邊も好調を維持している。寛仁親王牌では一次予選で



深谷知広

敗退も2日目に1勝をあげると、10月静岡では地元Vをゲット。この大会は68周年を制した実績もある。松井はオールスターで落車し、約2カ月実戦から離れたが、復帰後は順調に調子を戻している。寛仁親王牌⑦③②①着は、特選スタートの利を生かせず二次予選Bで上位進出の権利を逃がしたものの、最終日は新山響平、寺崎浩平らを撃破した。南関ラインの先頭を任せれば強気に攻める。

今年にはスピードを活かした自力攻撃に一段と磨きがかかった犬伏湧也を重視する手もある。ダービーでG1初優勝を果たすと、オールスター、寛仁親王牌でも決勝に進出。ビッグレースで自慢の快速を猛アピールしているだけに、G3なら主役を演じて不思議ではない。主導権さえ握れば好勝負に持ち込める。レース巧者の岩津裕介が犬伏に続き中四国ラインを形成。寛仁親王牌で②⑨①④着と2連対を果たすと、その後11月松阪②①②着、同月京王閣②①①着と差し脚快調だ。



新山響平

新山はSS班の意地を見せたい。今年はまだ優勝には手が届いていないものがある。関東の上位に自力型が手薄なので、平原康多は厳しい戦いを強いられそう。10月京王閣記念、11月四日市記念と続けて決勝を外している、調子も今ひとつの感がある。

寺崎、南修二、山田久徳とそろった近畿勢も侮れない。競技で活躍してきた寺崎は、ワールドクラスのスピードの持ち主。本業の競輪でも快速を發揮している、オールスター、共同通信社杯ではそれぞれ2勝、寛仁親王牌は準決4着。惜しくも2分の1輪差で決勝を逃がしたが、スピードは光っていた。援護陣がしっかりしていることで、好機に仕掛けてレースを掌握すれば、近畿勢から優勝者が出る場面も考えられる。

開設七十二周年記念 椿賞争奪戦 GⅡ ナイター

12月2日 3日 4日 5日

12月5日 第9R レインボーカップ A級ファイナル

伊東温泉競輪 第1回 開催告知ポスター(1950年) 復刻版



犬伏湧也

主力メンバー

※2023年11月19日現在

氏名	登録地	期別	競走得点	直近12場所成績
犬伏湧也	徳島	28	115.96	119期 171cm78 115.21 115.51
岩津裕介	岡山	41	113.93	87期 169cm75 110.65 113.57
南修二	大阪	42	115.90	88期 169cm72 110.25 115.33
山田久徳	京都	36	114.27	93期 169cm73 111.00 112.68
寺崎浩平	静岡	33	114.43	117期 171cm73 109.90 114.43
深谷知広	静岡	33	114.90	96期 169cm86 113.50 114.47
松井宏佑	茨城	31	113.57	113期 166cm74 109.90 114.00
平原康多	埼玉	41	114.46	87期 169cm91 113.45 114.30
新山響平	青森	30	114.96	107期 171cm71 114.42 114.62

椿賞争奪戦 出場予定選手

※2023年11月19日現在

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
SS	平原康多	埼玉	87期	114.46	S2	八日市屋浩之	石川	79期	101.42
SS	新山響平	青森	107期	114.96	S2	國村洋	山口	80期	97.38
S1	内藤宣彦	秋田	67期	106.03	S2	土屋裕二	静岡	81期	93.92
S1	香川雄介	香川	76期	109.13	S2	濱田浩司	愛媛	81期	103.06
S1	野田源一	福岡	81期	110.14	S2	友定祐己	岡山	82期	97.30
S1	佐藤慎太郎	福島	83期	102.18	S2	田村真広	群馬	83期	94.83
S1	大槻寛徳	宮城	85期	105.77	S2	台和紀	埼玉	83期	94.26
S1	高原仁志	徳島	85期	103.63	S2	石毛克幸	千葉	84期	102.25
S1	和田健太郎	千葉	87期	113.06	S2	川村晃司	京都	85期	100.37
S1	岩津裕介	岡山	87期	113.93	S2	五十嵐力	神奈川	87期	98.48
S1	南修二	大阪	88期	115.90	S2	岡本大嗣	東京	88期	102.20
S1	吉本卓仁	福岡	89期	105.12	S2	篠原龍馬	高知	89期	93.47
S1	山田久徳	京都	93期	114.27	S2	田中誠	福岡	89期	102.81
S1	坂本貴史	青森	94期	107.58	S2	吉松直人	高知	90期	97.69
S1	磯田旭	栃木	96期	105.22	S2	中村雅仁	熊本	90期	92.77
S1	深谷知広	静岡	96期	114.90	S2	竹山陵太	宮城	91期	102.14
S1	中井祐祐	奈良	97期	104.89	S2	岸澤賢太	埼玉	91期	98.63
S1	武藤龍生	埼玉	98期	114.50	S2	笹倉慎也	富山	91期	99.35
S1	小松崎大地	福島	99期	111.24	S2	小塚浩二	石川	91期	99.80
S1	久米康平	徳島	100期	105.55	S2	古川尚耶	石川	92期	97.03
S1	吉澤純平	茨城	101期	107.37	S2	山田義彦	埼玉	92期	99.00
S1	谷口遼平	三重	103期	108.50	S2	森川大輔	岐阜	92期	97.39
S1	川口聖二	岐阜	103期	107.13	S2	佐藤雅春	宮城	94期	99.34
S1	渡邊雄太	静岡	105期	111.00	S2	渡辺正光	福島	95期	99.50
S1	山岸佳太	茨城	107期	107.83	S2	二藤元太	静岡	95期	102.50
S1	末木浩二	山梨	109期	103.90	S2	落合達彦	静岡	96期	97.26
S1	大石剣士	静岡	109期	105.53	S2	西村光太	三重	96期	105.09
S1	野口裕史	千葉	111期	103.79	S2	棚橋勉	岡山	96期	99.82
S1	松井宏佑	神奈川	113期	113.57	S2	松尾透	福岡	96期	103.86
S1	嵯峨昇喜郎	青森	113期	101.35	S2	中田雄喜	福島	97期	98.88
S1	宮本集輔	山口	113期	95.65	S2	小島歩	神奈川	97期	98.31
S1	菊池岳仁	長野	117期	106.35	S2	田中陽平	熊本	97期	96.78
S1	寺崎浩平	福岡	117期	114.43	S2	角令央奈	福岡	98期	94.20
S1	石原颯	香川	117期	103.19	S2	森山智徳	熊本	98期	96.33
S1	伊藤旭	熊本	117期	108.62	S2	泉慶輔	宮城	99期	101.91
S1	犬伏湧也	徳島	119期	115.96	S2	石川裕二	茨城	99期	102.19
S2	伊藤健詞	徳島	68期	98.37	S2	恩田淳平	群馬	100期	106.62
S2	那須久幸	福岡	71期	92.97	S2	小原唯志	茨城	101期	98.29
S2	松田治之	大阪	73期	97.50	S2	富尾享平	大阪	101期	93.04
S2	石丸寛之	岡山	76期	99.29	S2	長尾拳太	岐阜	103期	102.95

大石 剣士 (静岡/109期)

10月函館で今年の初Vを飾ると、11月静岡ではまくって準Vなど、ホームの記念開催に向けて調子を上げてきた。一次予選は主力になるし、二次予選でも好勝負が期待できる。



恩田 淳平 (群馬/100期)

11月前橋1②②着。準決と決勝はいずれも深谷知に食い下がっている。今期は2班ながら地力は1班中堅クラスだ。オールスターで1勝の実績もあり、上位戦でも好位置占めれば連対望める。



黒沢 征治 (埼玉/113期)

こここのところやや末脚を欠いての2、3着が目立つものの動きは悪くない。直近4カ月の3連対率は7割に迫る勢い。相変わらず競走は積極的なので、動向からは目が離せない。

レインボーカップ A級ファイナル

条件がそろった菊池竣太郎

出場予定選手詳細 ※2023年11月19日現在

選手名	所属	身長	年齢	期	最近4ヶ月前期得点	今期得点	直近12場所成績	総合評価
大西 貴晃	大分 杵築市	177cm	31	101期	95.62	101.26	⑤②①④①①①①①①①①	75
岡崎 景介	広島 尾道市	181cm	41	87期	96.50	96.80	⑥⑦⑥⑩①②④④⑤②②②	68
佐伯 亮輔	岡山 倉敷市	171cm	29	113期	96.07	95.77	⑥④④⑤③②①①①①①①	75
張野 幸聖	和歌山 和歌山市	175cm	23	115期	96.25	96.77	⑨⑩④④①①①①①①①①	73
望月 一成	静岡 静岡市	176cm	27	111期	94.75	95.03	⑩⑧③③①①①①①①①①	75
菊池 竣太郎	静岡 静岡市	169cm	27	111期	95.85	95.85	④④④④④④④④④④④④	74
菅原 大也	スガハラ ダイヤ	170cm	32	107期	95.44	95.54	⑤①①②①①①①①①①①	75
山本 修平	東京 東村山	179cm	27	115期	94.75	95.30	④④④④④④④④④④④④	73
木村 佑来	宮城 仙台市	171cm	22	119期	92.85	93.19	④④④④④④④④④④④④	72

期末恒例のレインボーカップ。来期もA級で、ここまでは非でも3着以内に入りたいのは山本修平と菊池竣太郎。レインボーでS級昇級への勝負駆けが決まって優勝する選手はそれほど多くないのだが、ここは好条件がそろった菊池を本命視していいだろう。地元で行われるという利点がある上に、南関東地区だけは3選手が選出された。同県同期の望月一成か、南関東で菅原大也が前回りでもおかしくないメンバー。いずれにしても菊池を軸に作戦を立ててきそう。菊池、望月は前期S級でもコンスタントに連対があり、菊池が来期もA級なのは失格点があったことだ。今期は6連覇した実績がある望月、前期に降格してこまで9Vの菅原の存在は頼もしいの一言。望月も菅原もそこまで仕掛け早いタイプではないが、誰が先導役でもおかしくない南関東の先頭を走るとなれば自然と気合も入



り主導権だけは絶対に譲らないはず。短走路だし、そのままライン決着に期待が持てる。大西貴晃、佐伯亮輔。西の2人の勢いも凄まじい。大西は今期降級して怒涛の8V。準決で新鋭にやられた一戦と準Vがある以外はすべて優勝している。狙い澄ましたまくりの破壊力は天下一品で本人も自信を持ってレースに臨んでいる。単騎戦になっても、南関東のペースが乱れば一気に飲み込んでしまいう。佐伯は失格のパナルティーで長期欠場してなければA級は走っていないかった。1月からここまで特進こそできなかったが、78戦で48勝、2着14回で13Vは文句なしで、怪我明けの岡崎景介を連れて発進。南関東も好勝負を演じるはずだし押し切りも。菊池とともに勝負駆けの山本は総力戦。115期ナンバー1の素質が開花した近況だけに、自分で自力自在に勝負するか。ただ、東の連係で木村佑来、同期の張野幸聖の積極策に託す手もありそうで選択肢は多い。



車券の購入は20歳になってから。競輪は適度に楽しみましょう。競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。